

# 市議会だより



学校施設などの除染 8月完了予定 2

稲わら保管など県に要請書を提出 5

議 会 改 革 最終報告まとまる 10

一 般 質 問 放射能問題など 14人登壇 11

「私もひとこと」  
千葉 すすむ 進さん(鶯沢)・菅原 すがわら 美和さん(金成) 16



# 保育所・幼稚園・学校施設の 放射能除染、8月完了の予定

震災などの影響により平成23年度から平成24年度に繰り越された事業総額は、73億2550万円になりました。その内、一般会計では、各小学校改築事業や災害復旧事業などの44事業で59億5819万円、介護保険などの特別会計では12億5369万円、事業会計では1億1362万円になりました。

また、平成23年度事業費の確定などによる専決処分の平成23年度補正予算総額は7億6533万円ですが、事業費の減額とともに、減債基金積立に5億4198万円、観光施設整備事業等基金積立に4億円、下水道事業特別会計繰出に2億6954万円、教育施設整備基金積立に4億35万円が補正されています。

一方、平成24年度一般会計補正予算には、23億5470万円が計上され、主な内容は、放射能除染関係業務や市営牧草地放射能除染作業の委託料、(仮称)金成小中一貫校建設事業費および災害公営住宅建設事業費の増額などで、4 常任委員会に付託され、審議の結果、原案のとおり可決しました。



災害公営住宅建設予定地 (若柳 旧栗原農業高校農場跡)

東日本大震災で、住家が全壊・半壊・大規模半壊の被害を受け解体を予定している方の入居を対象とする事業です。

被災者へのアンケートと面談により入居を希望する方、15戸(若柳地区10戸・栗駒地区4戸・高清水地区1戸)の建設を予定しています。工事は、今年度中の完了を目指します。

災害公営住宅建設事業費増額  
2億4081万円

5月3日、4日の豪雨によつて農業用施設174カ所(道路59カ所・水路97カ所・ため池14カ所・頭首工4カ所)に被害がありました。

た。工事は緊急的なものを除き、稲刈作業が終了する9月以降に開始し今年度の完了を目指します。

農業用施設災害復旧費増額  
1億4716万円



5月の豪雨で崩れた栗駒姫松地区 (倉沢水路)

牧草地放射能除染作業委託料  
1億6524万円

1億6524万円

市営牧野5カ所(栗駒深山牧野・築館照越牧野・金成牧場有壁団地・金成牧場萩野団地・鶯沢上藤沢牧野)218畝の除染を行うもので、堆肥の散布、プラウによる反転耕、土壌改良資材、

化成肥料の散布、播種(はし)圧を行う予定です。また、堆肥は、市内3カ所の有機センターで保管しているものを使用する計画です。



除染対象校（一迫 長崎小学校）

栗原市は「放射性物質汚染対処特措法」に基づき、「汚染状況重点調査地域」に指定されたことから、市は「栗原市除染実施計画・第一版」を策定し環境省に提出していました。その計画が5月28日に承認され、15行政区が指定されましたが、優先順位の高い市内13カ所の保育所・教育施設の除染作業経費が計上されています。

また、全行政区の放射線量測定が終了したことから新たに9行政区が第2版で除染実施地区に指定される予定です。

**放射能除染等  
関係業務委託料  
6億3924万円**

第1版除染実施地区（行政区単位）

地区名	行政区名	関係する保育所・教育施設
栗 駒	三丁、東方区、下小路、深谷、鳥沢北、鳥沢南	栗駒小学校、栗駒岩ヶ崎保育所、岩ヶ崎小学校、鳥矢崎小学校、サン・スポーツランド栗駒
一 迫	高橋上、東町	金田幼稚園、長崎小学校
鶯 沢	駒場下、堰根	鶯沢幼稚園・保育所、鶯沢小学校、鶯沢中学校
金 成	有壁1、有壁2、有壁3、末野、藤渡戸	金成萩野保育所、萩野小学校、萩野第二小学校

※第1版の関係する保育所、教育施設の除染は8月完了を目指します。

第2版除染実施地区

○行政区単位

地区名	行政区名	関係する保育所・教育施設
栗 駒	鳥沢下、高松	
金 成	上片馬合、下片馬合	
花 山	小豆畑、天ヶ沢、座主、花山沢、北ノ前	花山幼稚園、花山小学校

○施設単位

地区名	施設単位での除染実施対象施設名
一迫	金田小学校
栗駒	里谷児童遊園、文字上児童遊園、文字下児童遊園
鶯沢	宮城県岩ヶ崎高等学校鶯沢校舎、柳沢公園
花山	ミズバショウ公園

※第2版の除染については、今後予定されます。

請 願 ・ 陳 情

議案番号	件 名	請願・陳情者名	議決結果
請願第1号	栗駒地区 市道上田線の路線変更と早期整備に関する請願	芳賀 信二、狩野 徳一、渡辺庄一郎、濁沼 新造、濁沼 高喜、菅原 宗勝	不 採 択 <継続審査分>
陳情第4号	菖蒲沢地区避難道路の新設に関する陳情書	栗駒上野行政区長 千葉 榮一 地域住民代表 今野 六男	紹 介
陳情第5号	飼料の暫定許容値見直しに関する要望書	栗っこ農業協同組合代表理事組合長 曾根 正範 繁殖牛生産者協議会会長 熊谷 倫蔵 仙台牛肥育部会会長 蓬田 忠雄 若柳牛肥育部会会長 菅原 文男 酪農部会会長 木川田耕作	紹 介
陳情第6号	栗駒地区 市道山神・宿畑線と市道有賀沢・種井戸線が連結している公衆用道路（通称松岩寺参道）を市道に認定されたい旨の陳情書	地縁団体桜田財産管理会 会長 高橋 卓司 他役員一同 松岩寺住職 佐藤 澄隆	紹 介
陳情第7号	「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」の成立を非難し、廃止を求める要望書	東北大学職員組合執行委員長 駒井三千夫	紹 介
陳情第8号	生活再建に至らない東日本大震災被災者の医療費自己負担免除の継続を求める陳情書	宮城県保険医協会理事長 北村 龍男	紹 介
陳情第9号	市道馬場駒の湯線早期復旧に関する要望書	栗駒耕英行政区長 金澤 大樹 栗駒耕英地区振興協議会会長 佐藤 拓磨	紹 介
陳情第10号	政府の「年金額2.5%の削減」施策撤回を求める意見書採択のお願い	全日本年金者組合栗原支部支部長 浅野信太郎	紹 介



契

約



(仮称) 金成小中一貫校の完成予想図

平成26年4月に開校予定の(仮称)金成小中一貫校の校舎建築など4件の契約の議決を求められました。審議の結果、全議案、全会一致で可決しました。

- 〔概要〕  
**(仮称)金成小中一貫校 校舎建設建築工事**  
校舎本体の建築工事  
〔契約の金額〕  
13億4925万円  
〔契約の相手方〕  
佐藤工業・宮城建設特定建設工事共同企業体(代表者 佐藤工業株式会社東北支店(本社 東京都中央区))
- 〔概要〕  
**(仮称)金成小中一貫校 校舎建設電気設備工事**  
電気設備工事一式  
〔契約の金額〕  
1億7850万円  
〔契約の相手方〕  
株式会社ユアテック栗原営業所(本社 仙台市)
- 〔概要〕  
**(仮称)金成小中一貫校 校舎建設機械設備工事**  
機械設備工事一式  
〔契約の金額〕  
2億1630万円  
〔契約の相手方〕  
株式会社ユアテック栗原営業所(本社 仙台市)

- 〔概要〕  
**(仮称)金成小中一貫校 屋内運動場建設建築工事**  
屋内運動場建築工事一式  
〔契約の金額〕  
3億8640万円  
〔契約の相手方〕  
大和ハウス工業株式会社 仙台支社(本社 大阪府大阪市)

請願

市道上田線の路線変更と早期整備に関する請願「不採択」

平成24年2月定例議会に提出された同請願は、付託された建設常任委員会が審査され、「生活道路としての必要性が薄いこと」などの理由により不採択すべきとされ、本会議でも採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

(請願者などは3頁参照)



請願個所の現地調査

6月定例議会での審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名 議案名	議決結果	採 決 結 果																												
		菅原 勇喜	小岩 孝一	大瀧 信子	千葉 健司	鈴木 道夫	佐々木 嘉郎	阿部 貞光	佐々木 幸一	瀬戸 健治郎	欠 員	濁 沼 一孝	沼 倉 猛	佐藤 優	相馬 勝義	三塚 東	石川 正運	高橋 義雄	佐藤 勇	欠 員	三浦 善浩	佐藤 文男	佐々木 脩	大関 健一	富塚 正夫	五十嵐 勇	鹿野 芳幸	高橋 勝男	欠 員	佐藤 久義
請願第1号(継続審査) 市道上田線の路線変更と早期整備に関する請願	不	○	×	×	×	欠	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	議

※1 議決結果欄の説明は次のとおり 「不」⇒不採択  
 ※2 採決結果欄の説明は次のとおり 「○」⇒賛成、「×」⇒反対、「議」⇒議長、「欠」⇒欠席

意見書

議会に対する陳情を受け、文教民生常任委員会から2件の意見書が提出されました。採決の結果、全会一致で可決し、関係機関に送付しました。  
**東日本大震災の被災者に対する医療費一部負担金免除の継続を求める**

被災住民に対する医療費一部負担金の免除の期限が、平成24年9月末までとされていることについて、生活再建が進んでいないことから、更なる延期を求めるものです。

**公的年金の特例水準の解消を行わないことを求める**

現在、特例として過去の物価下落を反映していない年金水準を、厚生労働省が本来の水準に戻すべく、その差2・5%引き下げで解消を図ろうとするのに対し、現在の経済状況、震災の影響から、特例措置の継続を求めるものです。

人事

○人権擁護委員

千葉勝也さん  
 (花山) 新

表彰

5月23日に開催された第88回国市議会議長会定期総会において、次のとおり全国市議会議長会会長から表彰されました。

今回の受賞は、栗原市および合併前の旧町村議会議員として長年にわたり、市政などの振興に務められた功績によるものです。

○15年以上

菅原勇喜 議員

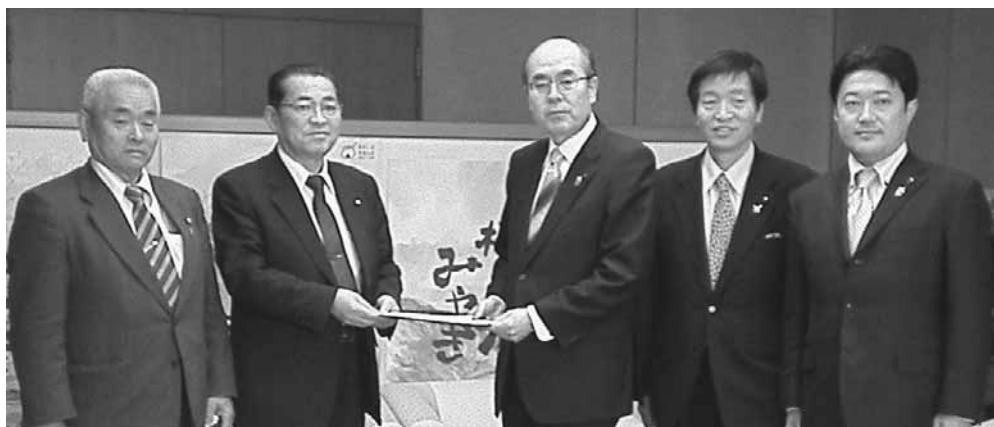
○10年以上

佐々木嘉郎 議員  
 大瀧信子 議員

放射能対策

県に要請書を提出  
 稲わら保管や農業者の負担軽減

東日本大震災調査特別委員会



要請書を受け取る若生副知事

東日本大震災調査特別委員会は、市の除染計画と汚染稲わらなどの一時保管および飼料の暫定許容値見直しなどについて、関係職員の出席を求め調査をしました。

特別委員会では、食品

および飼料に含まれている放射性セシウムの新基準値への対応が急務なことから、水稲および大豆における放射性物質の吸収抑制対策に係る自治体および農業従事者の負担の軽減や汚染稲わらの一時保管など早急に対応することなどを内容とした要請書を作成し、議長および副議長が4月13日に宮城県に対し要請を行いました。除染実施計画については、2年を目途として実施する計画となっているが、環境省の承認

が遅れ除染の実施に至っていないことから、市民の理解を得て早期に実施するよう要望する調査結果を提出しています。

震災後の復旧  
 女川原発を調査

さらに、東北電力株式会社から現在の電力供給量および復旧状況の説明を受けたほかに、4月17日に女川原子力発電所の現地調査を実施しました。特別委員会は調査結果として、福島第一原子力発電所事故はいまだに収束していないことから、女川原子力発電所の再稼動は安易に結論を出さず、今後も継続して調査することとしました。